

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	都市計画事務【東大和市緑の基本計画改定業務】						
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名	神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 5	-
【施策名】 緑の保全創出	総合計画書 (ページ)	91	

予算名	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業 3	都市計画事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	------	---------

1 この 仕事 の 目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 ①市民 ②市職員 ③企業	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） ①人 ②人 ③社
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①東大和市の緑の将来像の実現に向けた施策体系を理解する。 ②東大和市の緑の将来像の実現に向けた施策体系を知り、自分の行っている業務の役割を理解する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 施策の着手割合
	③ そのために何をしましたか。 平成29年度及び30年度の2か年で改定する。平成30年度は次のことを実施した。 ①庁内検討委員会の開催 ②改定懇談会の開催 ③地域別懇談会の開催 ④パブリックコメントの実施 ⑤東京都との法定協議	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①開催回数 ②開催回数 ③開催回数 ④実施回数 ⑤協議回数

2 指標 の 推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	/	/	/	/
	成果指標	②の数値	%	/	/	/	/
	目 標	②の目標値		目標値設定の考え方 施策に対する理解度の指標化が困難であるため。			
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④回 ⑤回	/	/	① 3 ② 3 ③ 8 ④ 1 ⑤ 1	/	/

3 経 費	事業費（実績）	円	0	2,936,783	5,354,617	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源	円	0	2,936,783		5,354,617
		特定財源	円	0	0		0
		（うち受益者負担）	円	0	0		0
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	0.0	1.0		1.0
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0		0.0
		職員人件費（再任用以外）	円	0	8,244,000		8,244,000
職員人件費（再任用）	円	0	0	0			
事業費+人件費	円	0	11,180,783	13,598,617			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大い

4 環 境 変 化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 開始時期：平成29年度 開始理由：平成11年に策定した現行計画の計画期間が平成30年度で期間満了となるため。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし

仕 事 の 内 容	都市計画事務【東大和市緑の基本計画改定業務】						
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名	神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組んだ	取組手法	⑥情報提供・情報交換（まちづくりニュース【5月15日号市報折り込み】） ⑧その他（公募市民委員を含めた改定懇談会） ⑧その他（地域別懇談会） ⑧その他（パブリックコメント）			
			【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
平成30年度で本業務が完了するため、特になし						
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	特になし					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	特になし					
(3)(2)を踏まえた今後の課題						
特になし						
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	平成30年度で本業務が完了するため、特になし					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	平成30年度で本業務が完了するため、特になし					
(3)改革・改善案による期待成果						
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。	